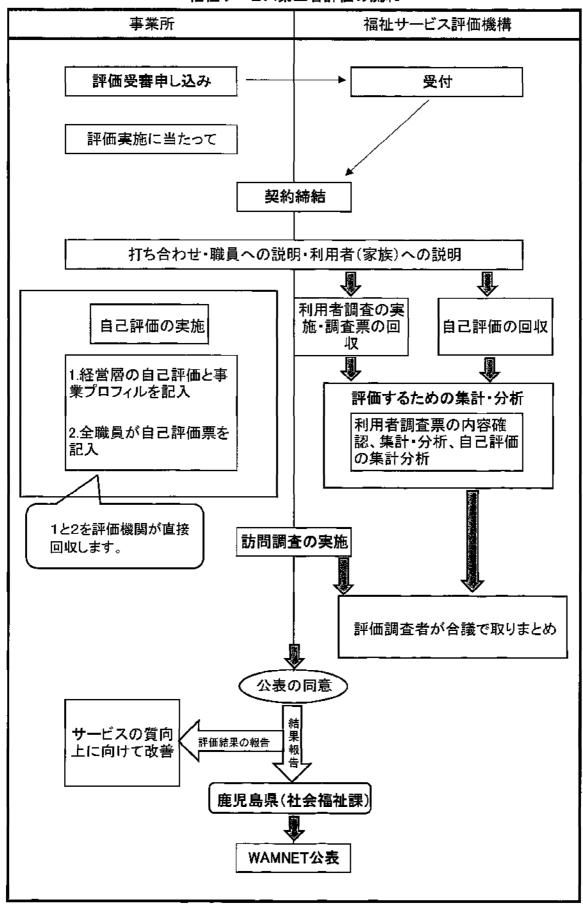
評 価 機 関 情 報

認	証番	号	(認	証 日)	鹿	児	島	2	4	_	0	1	(令	和	6	年	3	月	2	7	日)	
評	価	栈	Ś	関	名	N	Р	Ο	法	人	自	<u>\f\</u>	支	援	セ	ン	タ	_							
						福	祉	サ	<u> </u>	ピ	ス	評	価	機	構										
代	表	者	職	氏	名	理	事	長		藤	田		照	美											
評	価 責	任	者	職氏	名	理	事	長		藤	田		照	美											
評	価格	幾厚	 月 月	所 在	地	鹿	児	島	市	星	ケ	峯	4	丁	目	2	番	6	号						
連	電	話		番	号	0	9	9	_	8	0	0	_	8	0	2	0								
絡	F.	Α	X	番	号	0	9	9	_	8	0	0	_	1	8	3	7								
先	ホー	- 1	· ~	° –	ジ	h t	tр	s:	//	'np	oh	пус	ka	a.,	jir	n d	э.	со	m/						
	E – m a	ai1	ア	ドレ	ス	hу	o k	a @	sa	ın.	b k	oiq	1	јр											
役	į		4	各	簿	別	添	フ	ア	イ	ル	の	と	お	ŋ										
評	価	調	查	者	数	9	人	(令	和	5	年	1	2	月	1	1	日	現	在)				
標	準的	な評	平価	うの流	れ	別	添	フ	ア	イ	ル	の	と	お	り										
料		金	<u> </u>		表	別	添	フ	ア	イ	ル	の	と	お	り										
苦	受付	担当	者	(フリカ゛	ナ)	西	迫		和	子	(ニシ	サコ	力	ス゛	コ)									
情	受	付		時	間				_																
窓	電	話		番	号	0	9	9	_	8	0	0	_	8	0	2	0								
П	F.	A	X	番	号	0	9	9	_	8	0	0	_	1	8	3	7								
	E – m a	a i 1	ア	ドレ	ス	hу	o k	a @	sa	n.	b b	oiq	1	јр											
認	1	Œ	ļ	朝	間	令	和	6	年	4	月	1	日	カュ	ら	令	和	9	年	3	月	3	1	日	
						ま	で																		
対	応可	能	なき	評価		全	分	野																	
分	野																								
福	祉サ		ビジ	ス第	Ξ.	地	域	密	着	型	サ	_	ビ	ス	0)	外	部	評	価	に	関	す	る	事	<u>業</u>
者	評価	以:	外(の主	な																				
業	務内	容																							
評	価 機	関。	Ŀ ١	しての)		私	た	ち	の	理	念													
Р	R						公	平		平	等	な	<u>1</u>	場	・で	,	常	13	. 第	三	者	台 性	: を	2 堅	持
						し	,	<u>_</u> "	利	用	者	0)	Γ	安	心		لح		信	頼		(3	- 告	5 与	し
						ま	す	0																	
							事	業	所	サ	_	ビ	ス	0)	質	(D)	卢	i 上	: K	寄	与	i l	す	: す	0

福祉サービス第三者評価の流れ



標準的な評価手順と料金に関する規程

NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構の福祉サービス第三者評価に関する標準的な評価手順と料金に関する規程は下記のとおりとします。

記

- (1) 標準的な利用者調査の方法
 - ・アンケートを中心とした調査を実施します。
- (2) 標準的な事業評価の方法
 - ・自己評価結果を事前に分析して訪問調査の参考とします。
 - ・訪問調査は「経営」と「福祉」のそれぞれを専門とする2人以上の組み合わせで実施します。

		Г -			1		
種	事前説明	利用者調査の	事業評価の方	結果報 告 	評価費用		
別		方法	法				
高	・事前に施設職員に		・全職員の自己評	・結果や事業	基本費用(240,000		
齢者	趣旨や方法を説明		価結果を分析後、	改善への課題	円)+利用者定員		
障	します。		2名以上の評価	を報告書にま	×1,000円		
高齢者·障害者入所施設等	・必要に応じて利用		者が訪問調査を	とめて提出し	例)利用者定員 60		
<u>テ</u>	者・家族にも説明し		実施します。	ます。	名の場合 240,000		
施	ます。		・訪問時間は 6 時	・報告会を実	円+60×1,000円		
等			間です(日中)	施します。	=300,000円		
障	・事前に施設職員に	・全員を対象と	- 全職員の自己評	・結果や事業	基本費用(240,000		
害児	趣旨や方法を説明	した調査	価結果を分析後、	改善への課題	円) +利用者定員		
入	します。		2名以上の評価	を報告書にま	×1,000円		
所施	・必要に応じて利用		者が訪問調査を	とめて提出し	例)利用者定員 60		
設	者・家族にも説明し		実施します。	ます。	名の場合 240,000		
	ます。		-訪問時間は 6 時	・報告会を実施	円+60×1,000円		
			間です(日中)	します。	=300,000 円		
保	・事前に施設職員に	・全員を対象	・全職員の自己評	・結果や事業	基本费用(240,000		
保育施設等	趣旨や方法を説明	とした調査	価結果を分析後、	改善への課題	円)+利用者定員		
設生	します。		2名以上の評価	を報告書にま	×1,000 円		
*T	・必要に応じて利		者が訪問調査を	とめて提出し	例)利用者定員 60		
	用者・家族にも説		実施します。	ます。	名の場合 240,000		
	明します。		-訪問時間は6時	-報告会を実施	円+60×1,000円		
			間です(日中)	します。	=300,000 円		

福祉サービス第三者評価料金表

NPO法人 自立支援センター 福祉サービス評価機構

評価料金は、基本料金と利用者調査の合計額となります。

評価料金=A. 基本料金+B. 利用者調査付加料金

分 野	A 基本料金	B. 利用者調査付加料金
高齢者施設		
保育施設	340 000TH	中昌 ∨ 1000 Ⅲ
障害者(児)施設	- 240,000円	定員 × 1,000円
母子福祉施設	1	

<評価プロセス>

- ・実施方針の検討、評価方法・手順の説明、契約内容・スケジュールの確認等、調査事前調整・確認
- ・調査票・依頼文等の準備、事業所への送付、事前検討を踏まえた訪問調査社内打ち合わせ
- ・訪問調査終了後のまとめ、調査結果のまとめ・評点・コメント等の作成、評価者合議による 評価結果のまとめ(報告書作成)、事業所での報告書説明、報告書の最終確認・推進機構への報告

料金の概算見積額

利用定員数	A. 基本料金	B. 利用者調査付加料金	評価料金
20			260,000
30			270,000
40			280,000
50			290,000
60	240,000	1,000	300,000
70			310,000
80]	320,000
90			330,000
100			340,000